



Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。大槻は岡山県真庭郡新庄村の内科診療所で一人医師として勤める5度目の秋です。穏やかな日常の中で、音楽や自然と向き合いながら、過ぎ行く時を楽しんでいます。

このコラムは二か月分なのでリアルタイムな様子ではなく、一年前のメモリーをお伝えします。



誕生日近くで半日人間ドッグは古巣の川崎医科大学附属病院。「ふるさと森」散策です。手前は校舎等と学生ラウンジ。



9月上旬のNHKの中国地方ニュースで新庄村のサルナシ出荷の話題。今年は全国サルナシ・おこわサミットが新庄村で開催されました。



9月中旬、真庭市落合垂水の写真館さんでLIVE～知り合いのIさんご夫婦が開催されているイベントにお声掛け下さいました。2部構成、全10曲、熱唱させて頂きました。



10月上旬、少し雨模様の日だったのですが赤とんぼ。そういえば中学校の自由課題習字で「赤蜻蛉の唄」と書いて、少し褒めて頂きました。



鳥取県琴浦町、地元では「赤碕の荒神さん」の愛称の神崎神社。拝殿内拝天井の龍や本殿に彫られた見事な彫刻。知らずに訪れて驚愕しました。



村の長寿の集いのアトラクションの一つ、カバーばかりで「潮来笠」「柔」「皆の衆」というセットリストでした。



森林セラピー基地の中国四国ブロックの研究集会、交流会の弾き語り依頼もあり、最初の

「ゆりかごの小径」の散策から参加しました。ガイド付でたたら製鉄の跡や林道に竜胆、さらにカエングケやブナの原生林。



秋も深まって来て、村のふれあい公園は紅葉がよい色合いです。

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。大槻の作詞作曲でサブスクなどではリリースしていませんが、ネットラジオ「雲心月性」でリンク企画として、9、10月にそれぞれ別バージョンでピアノ弾き語りをする予定です。なんと1974年に作った曲「帰れない季節」。LIVE活動の中でCメロの歌詞を3年前追加しました。

.....

侘せは 雨の向こうで 優しく 微笑んでいた
あの人は まるで無邪気に 枯葉を 集めていたの
色付く街に 肩を寄せて 二人は 恋人同士さ
感じる前の 愛の世界 もう 帰れない季節

サヨナラは 雨に流され いつしか 忘れられたし
あの人は 訳も無いのに まっすぐ 見つめてくれた
冷たい風に 肩を寄せて 二人は 恋人同士さ
感じる前の 愛の世界 もう 帰れない季節

夜明けごと 静けさが増して
張り詰めた 空気は すぐにも 粉々に
崩れてしまいそう
あの人の 想いは届かず
震え出す 心は いつまでも この日々を
忘れないけれど

早い日暮れに 肩を寄せて 二人は 恋人同士さ
感じる前の 愛の世界 もう 帰れない季

.....

二か月分のコラムですので時事的な話題は避けてしまいましたが、国際平和や天災からの復興を祈念し続けています。

♪オリジナルCD
プレゼントします！
詳しくは
プレゼントコーナーで

プロフィール 大槻 剛巳（おおつき たけみ）

- 1956年:京都府福知山市生まれ
- 1970年:京都府陸上競技大会100mハードル2位・KBS近畿放送AMラジオでリスナーの歌詞採用
- 1972&75年:NHKあなたのメロディー出演
- 1974年:YAMAHAポプコン全国大会(諸面の部)出場
- 1977年:YAMAHA神戸との連携で楽曲制作依頼
- 1981~2021年:川崎医科大学血液内科~衛生学
- 1992~1996年:米国留学(ミネソタ大学&NIH)
- 1997&2024年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作・準佳作で「岡山の文学」に掲載
- 2009年:Camnetラジオ:パーソナリティー開始
- 2011年:Camnetマガジン:連載開始
- 2014年:サブスクにて自作自演アルバムリリース開始
- 2021年:新庄村診療所所長(現職)